



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町 52

TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

2019年 全期の生産高及び対前年比較表

(単位：百万円)

種 類 別	2019年 (1月～12月)	2018年 (1月～12月)	増減率 (%)
水道用弁	10,112	9,184	10.1%
産業用弁	11,234	13,944	-19.4%
船用弁	5,706	3,552	60.7%
鋳物素材	847	861	-1.6%
合 計	27,900	27,541	1.3%

2019年 下半期の生産高及び対前年比較表

(単位：百万円)

種 類 別	2019年 (7月～12月)	2018年 (7月～12月)	増減率 (%)
水道用弁	5,639	5,308	6.2%
産業用弁	5,750	6,677	-13.9%
船用弁	3,081	2,179	41.4%
鋳物素材	422	464	-8.9%
合 計	14,892	14,627	1.8%

2019年 上半期の生産高及び対前年比較表

(単位：百万円)

種 類 別	2019年 (1月～6月)	2018年 (1月～6月)	増減率 (%)
水道用弁	4,473	3,877	15.4%
産業用弁	5,484	7,267	-24.5%
船用弁	2,625	1,372	91.3%
鋳物素材	425	398	6.8%
合 計	13,008	12,914	0.7%

2019年 (1月～12月) バルブ生産高調査結果

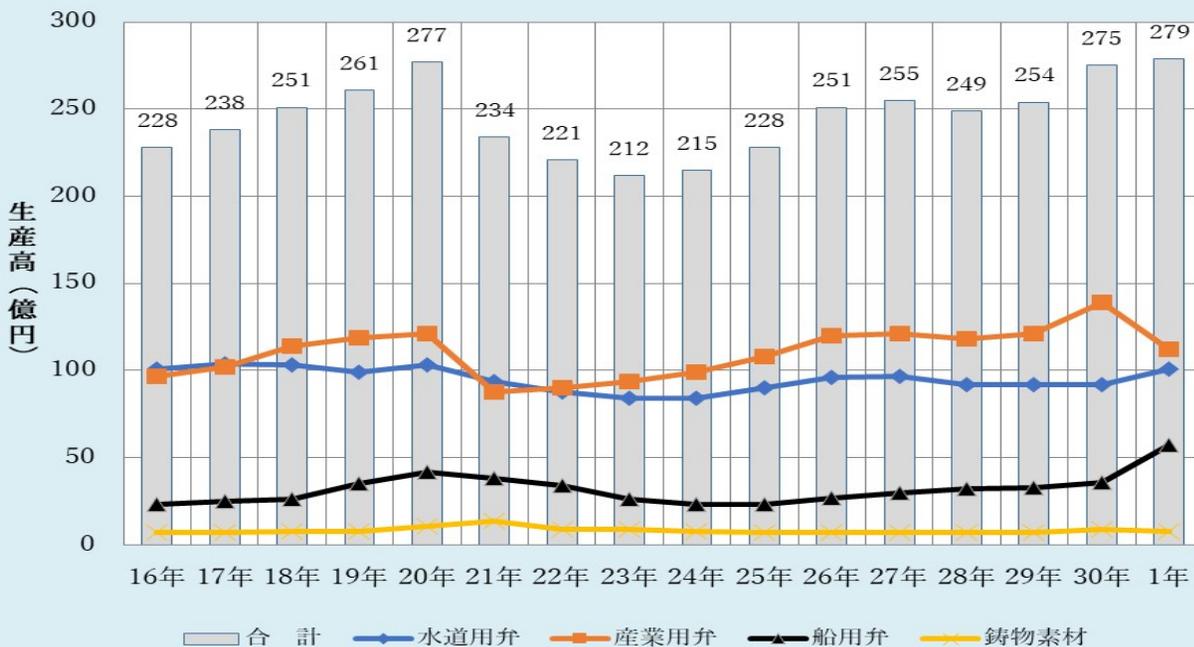
対前年比1.3%増の279億円

2019年下期(7月から12月)のバルブ生産高調査(組合員21社)の結果がまとまり、同下半期の生産高は前年同期比1.8%増(プラス2億6500万円)の148億9200万円となった。業種別に見ると水道用弁が前年同期比6.2%増の56億3900万円、産業用弁が13.9%減の57億5000万円、船用弁が41.4%増の30億8100万円、鋳物素材が8.9%減の4億2200万円となった。

この結果、上期を加えた2019年通期のバルブ生産高は前年比1.3%増(プラス3億5900万円)の279億円となった。業種別では水道用弁が前年比10.1%増の10億1120万円、産業用弁が19.4%減の11億2340万円、船用弁が60.7%増の5億7060万円、鋳物素材が1.6%減の847万円となった。

要因としては販売価格の改正と関東方面の出荷量の増加に加え、一昨年の西日本豪雨で出荷量が減少した中国・四国方面の回復が影響したものとと思われる。産業用弁は前年比19.4%減の11億3400万円と大きく減少した。東京オリンピック・パラリンピックの建築関連で増加が見られたものの、米中貿易摩擦の影響で中国経済が減速し、国内での設備投資の延期や見直しに影響したのと思われる。船用弁は60.7%増の30億8100万円と大きく増加した。船用エンジン排ガス規制装置向けバルブが国内外ともに好調で大幅な生産増になったと思われる。鋳物素材は1.6%減の4億2200万円とわずかながら減少した。

彦根バルブ生産高推移



このように2019年の通期生産高は前年比微増の結果となった。この1年を振り返ると中国経済の減速等により産業用弁は大きく影響を受け、国内需要全体への波及は限定的となり、水道用弁と船用弁は堅調に推移した。本組合の生産高は堅調に推移すると思われる。

備投資鈍化はあるものの都市インフラの老朽化対策の予算増加もあり、水道用弁と産業用弁の一部の需要は期待できると思われる。船用弁は国内の大手造船所の統合もあり受注競争は激しいものの排ガス規制関連の需要は引き続き堅調に推移すると思われる。

新年会開催される

組合の新年会が1月24日午後6時より伊勢幾で45名出席のもと開催された。

中川理事長の挨拶では、2019年の生産高結果についての発表と、今後予定されている滋賀県東北部工業技術センターの統合移転に関する経過説明がなされ、引き続き令和元年度『現代の名工』として厚生労働大臣から表彰授与された松林良蔵氏に組合より祝品が贈呈された。また、青年部部長松尾直樹氏より、青年部会員の会員増強として今後規約を改正し賛助会員の方にもご入会いただきたい旨依頼があった。その後、濱口副理事長の乾杯音頭にて賑やかな宴席に移った。



業界短信

令和2年1月、松尾バルブ工業(株)代表取締役社長に松尾直樹氏が、前社長松尾誠吉氏は会長にそれぞれ就任された。